

【技術分類】 4－2－3 筐体関連／盤面関連／釘・風車

【技術名称】 4－2－3－1 釘・風車

【技術内容】

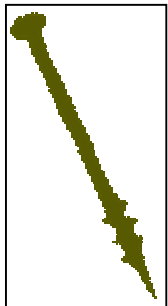
パチンコの盤面には主に玉の動きや出玉率を調整するために、多数の釘と数個の風車が打ち込まれている。風車とは釘に回転飾りを取り付け、盤面上で玉の振り分け機能を持つ役物を言い、玉の落下方向に変化を付けるために用いられ、風車に絡んだ玉は風車の回転により、玉の勢いを妨げずに左右へ振り分けることができる。主に玉の振り分けによる影響が大きい液晶左右や盤面上部の左右位置に配置される場合が多い。

パチンコ台で使用されている釘や風車については、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」の「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」内の「別表第四 パチンコ遊技機に係る技術上の規格」の「(2) 構造に関する規格」の「ホ 遊技くぎ等の構造に関する規格」において、「(イ) 遊技くぎ等の配置は、遊技球の落下を著しく不規則にするものでないこと。」、「(ロ) 遊技くぎ及び風車は、遊技板におおむね垂直に打ち込まれているものであること。」、「(3) 材質に関する規格」の「ハ 遊技くぎ等の材質に関する規格」において、「(イ) 遊技くぎ及び風車の軸の材質は、ビッカース硬度が 150Hv 以上 230Hv 以下である硬度を有する真ちゅう又はこれと同等の硬度を有する金属で容易にさびず、かつ、折れない性質のものであること。」と定められている。

釘の長さは 34mm、盤面での寸法は 17.5mm（打込み寸法 15mm）で、材質は真鍮か黄銅が用いられている。なお、パチンコ釘の硬度はメーカーや機種によっても若干異なる。

パチンコ台には 250 本から 300 本の釘が用いられていたが、大型役物を搭載し、盤面上の有効部分が減少するに比例して釘の本数も減少傾向にある。

【図 1】 パチンコ台で用いられている釘



出典：本標準技術集のために作成